

<http://www.akitajc.jp/>

JCI
VOL.7

今、気概を持って
進め、誇り溢れるまちあきた創造のために

JCNEWS

発行人：長谷川尚造 発行所：(社)秋田青年会議所 情報コミュニケーション委員会
〒010-0951 秋田県秋田市山王 2-1-54 三交ビル 3階 TEL018-824-7070 FAX018-824-7071

7月例会を終えて

財政局長 木村昭彦

去る7月5日(土)、秋田ブロック
会員大会が横手市にて開催
され、合わせて同市内の横手セント
ラルホテルにて7月例会を実施しま
した。

横手市での移動例会でしたが、遠
方にもかかわらず多数の会員が参
加、「出向されているメンバーにとっ
ては大会本番前」という状況も相ま
つて、普段と異なる雰囲気の中の開
催となりました。

今回の例会の内容は基本的に「
通常」のものですが、いつもとは異
なる特徴があります。それは新入会
員に対し、「バッジ、ネームプレート授
与式」が行われる事です。理事会に
て承認を受けた「12名」の新入会
員が、厳粛な雰囲気の中での「緊張
の面持ち」(想像してみてください)を
見て、入会時の自分をかいま見たよ
うな…。司会席にあった私は「そんな
心情であったことを記憶しています。

例会終了後は、例会出席者とも
に大会のメインフォーラム及び大懇



親会へと参加しました。進藤ブロッ
ク会長を始めとするブロックへ出向
したメンバーの活躍を見、「こんな場
面があったなあ」「大変そうだなあ」「懐
かしいなあ」と、昨年秋田ブロック協
議会へ私自身出向していたこともあ
つて、なんともいえない「感慨」が呼
び起こされた次第です。

ブロック大会を振り返ってみると、
昨年と変わり「一日間」の開催では
が、「内容の濃い、何かを得られる機

会」であった様に思います。
最後に、本例会の開催にあたり、事
業立案と実行にご尽力いただいた
理事長を始めとする三役と担当常任
の皆さま方に対し厚く御礼申し上げ
るとともに、参加して頂いたメンバー
に対し厚く御礼申し上げます。

交流懇親会(8月例会)のお知らせ

8月例会は、交流例会を行いません。ボーリングを行いながら会員同士と交
流し、友好を深めていただければと存じます。ご多用とは存じますが、ご参加く
ださいよう宜しくお願い申し上げます。

日時 2008年8月19日(火)17:50～21:00(受付開始17:30～)

・ボーリング(懇親競技)17:50～19:00

・例会、懇親会(ビアレストランプラッツ)19:30～21:00

場所 金萬ボウル

会費 4,000円(懇親会費) プレー代金1,100円

服装 競技に適した格好でご参加下さい。

協賛品 表彰式の際に使用いたしますので、是非ご協力お願いします。

平成20年7月31日発行

7月例会を終えて

8月例会のお知らせ

秋田ブロック会員大会

in横手を終えて

人間力開発プログラムを終えて
少子・高齢化社会検討委員会
意見交換会報告

秋田中央地区わんぱく相撲
全国大会壮行会

サマーコンファレンス2008に
参加して

近現代史教育プログラム実施
のための意見交換会を終えて

第38回秋田ブロック会員大会 in 横手を終えて

出向理事（秋田ブロック協議会運営専務） 田口正人

第38回を迎えた秋田ブロック会員大会が7月5日(土)に横手の地で開催されました。

私は、ブロックには何度か出向経験があり、一番最初がブロック大会で行われるメインフォーラムの担当委員会、次はブロック大会運営委員会と、ブロック大会には何度か携わってきましたが、本年は秋田ブロック協議会運営専務として迎えるにあたり、今までとは違った緊張感がありました。

当日は晴天とはいきませんでした。雨もふらず、また、たいしたトラブルもなく、順調に行うことができました。実際に自分がというより、担当した方々が、一生懸命に行ってくれた



ことより、苦情窓口となるはずの私に、そのようなことが一切なく、とても成功した会員大会だったと思います。

ブロック大会は1日の開催でありましたが、そこには主管LOMで横手JC山本理事長をはじめとする、横手JCの皆様のお力、そして、ブロック大会運営委員会藤田委員長をはじめとする、ブロック大会運営委員会の皆様の結束力があったからだと思います。もちろん、参加していただいた、LOMのメンバーには大・大・大感謝しております。

来年は湯沢で開催されます。また、来年もみんなで一緒にいきましょう。



人間力開発プログラムを終えて

人間力開発委員会運営幹事 渋谷守寿

去る7月8日(火)、旭北小学校体育館におきまして、人間力開発プログラム100分バージョンを行ないました。旭北小学校より3年生(2クラス合同)56名参加していただきました。

武石委員長の下、10:40より開始いたしました。始めはどうなることかと不安を抱えながらのスタートとなり、緊張しながら進んでいきましたが、子供たちは明るくまた、元気がよく、素直な子供たちだったので、こちら也非常に進めやすく、すぐに打ち解けることができました。

子供たちは私たちが思っている以上に自分の考えをしっかり持ち、発言できることに驚きました。

今回の主旨である「思いやりの心」「も

ったいないの精神」「親や先祖への感謝の心」などの道徳心を子供たちへ伝えていくことは、私たち大人の努めであると思いました。

また、子供たちと共に学ぶことは、我

々大人自身も一緒に学ぶいい機会だと思います。

今回ご協力いただいた学校関係者の皆様、そしてメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。



少子・高齢化社会検討委員会意見交換会報告

少子・高齢化社会検討委員会 加藤恒

梅雨と夏の3連休が明けた7月22日(火)、秋田ビューホテルにて、中村純也委員長率いる当委員会の意見交換会が開催されました。

2月の担当例会における社会的・経済的インパクト、また、LOM内外の企業の方々を対象としたアンケート調査から見えてきた直接的な問題点を踏まえ、やや緊張気味の委員長の説明とともに、スタートしました。

少子化対策アクションプラン、高齢化社会を生き抜くアクションプラン、そして、我々県内経済人が真剣に考えなければならない、労働人口問題に対するアクションプランについて、ご参加いただいたLOMメンバーがテ-

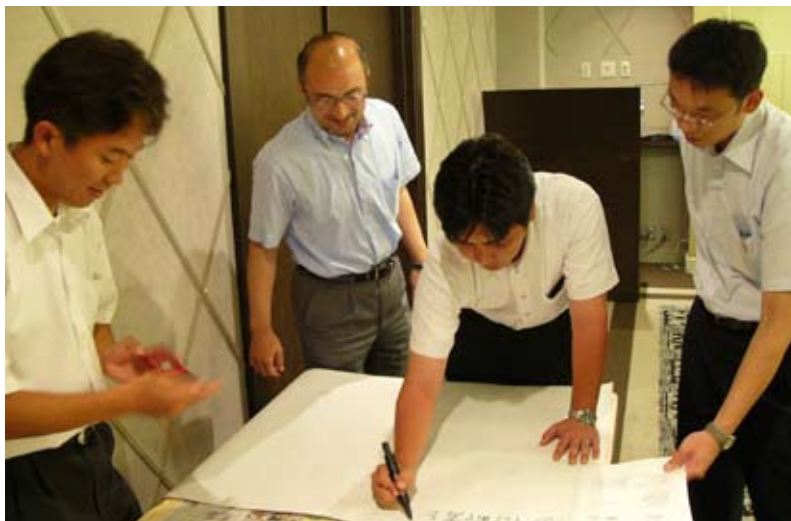


ブルごとに別れ、それぞれ簡単ではないテーマに対して約70分間と短い時間でしたがテーブル毎に活発な意見、多くの寄り道意見を経て、貴重なアイデアが出されました。

委員会メンバーはそれぞれのテーブルの進行役として参加させていただきましたが、メンバーの深い見識と業種によって異なる価値観など、委員会メンバーだけでは知りえない意見も多く頂戴しました。また、テーブル毎のアクションプラン発表は、JCらしい、個性的な発表の場となり、出されたアイデアとともに大いに会場も盛り上がりました。

今後、委員会ではこの頂戴したご意見、アクションプランをブラッシュアップし、具体的なアクションを伴った提言としてまとめ、皆様にご報告させていただくべく、活動していきます。

当日、お忙しい中ご参加くださいましたLOMメンバーの皆様本当にありがとうございました。



秋田中央地区 わんぱく相撲全国大会 壮行会

鹿角市八幡平相撲場にて開催された秋田ブロック大会において、全国大会の出場を勝ち取られた3名のわんぱく力士の慰労と全国大会に向けた壮行会及び秋田中央チームの結団式を7月24日(木)開催いたしました。

全国大会での活躍を期待しましょう。
頑張れ! 秋田のわんぱく力士!

全国大会出場メンバー(中央地区)

4年生の部

秋大附属小学校 木谷光太 君

5年生の部

川尻小学校 清水拓実 君

6年生の部

五城目小学校 石川大治 君



サマーコンファレンス 2008 に参加して

新公益法人制度対応委員会 委員長 進藤史明

阿部監事が議長を務めております「日本のアイデンティティ確立会議」によるメインフォーラム I を始め、様々なセミナーに参加してまいりました。日本 J C に出向している L O M メンバーの活躍と、各種セミナーの内容のすばらしさを目の当たりにして、今後の J C 活動・運動の活力をいただけてきました。

また、L O M ナイトでは、東京 J C 千代田区委員会に設営いただきまして、常陸太田 J C と当方と合同で懇親を深めました。例年のサマコンの懇親会と比べると、一風変わった雰囲気ではありましたが、そこに集まった全員が「これからもこの関係を大事にしていきたいと思います」ということで、よりよい関係になることができたと考えております。



今回の貴重な経験を L O M メンバーに伝え、来年は行ってみようかなと思ってもらえるように務めてまいります。これからも各種大会がありますので、皆様も是非参加お願い致します。

近現代史プログラムに関する意見交換会を終えて

人間力開発委員会 副委員長 辻康平

去る7月15日、秋田青少年交流センターユースパル大会議室において「近現代史教育プログラムに関する意見交換会」を行いました。

現役会員、招待有識者総勢50名が出席し、(社)日本青年会議所が中高生に推奨している近現代史教育プログラムのためのDVD「誇り」を鑑賞の後、グループに分かれ、私たち自身の歴史観、次世代に伝えるべき「日本人としての誇り」や「国を愛するところ」について討論しました。

報道においてさまざまな物議を呼んでいた「誇り」のDVDですが、大正、昭和以降の近現代史について、必ずしも私たち自身が十分な教育を受けていないことを再認識し、子を持つ親として、次世代に伝え残していくべき「日本人の心」について考える、いい機会になったと思います。

また、近現代史教育プログラムに携わっている日本 J C の現役メンバーや O B の諸先輩の意見、そして教育現



場に立っている先生たちの思いや実状を、生の声として聞くことができ大変参考になりました。

今後の人間力開発委員会の活動に役立てていきたいと思っています。

最後に貴重な時間を割いて当事業

に協力していただきました、秋田聖霊女子短期大学附属高等学校の半田先生をはじめとする各学校の先生や諸団体の有識者の皆様、そして J C メンバーの皆様、本当にどうもありがとうございました。